

こころの樹

年報

事業報告 2011年度(平成23年度)



社会福祉法人
テレビ朝日福祉文化事業団



命の重さと
命の儂さと
命の大切さと…。

優しさと思いやりと勇気と
みんなの中に育つ
こころの樹に
若葉が茂り、幹が太くなりますように。

ともに生きることができる
ハートウォーミングな社会を目指し
私たちは、活動しています。



はじめに

3月の東日本大震災、福島第一原子力発電所事故で今なお、
復旧、復興、避難生活をされている多くの皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

2011年は、3月に建設中の「東京スカイツリー」の高さが601メートルに到達（完成時634メートル）、自立式電波塔では世界一となりました。そして九州新幹線鹿児島ルート全線開業。7月にはサッカーの第6回女子ワールドカップ（W杯）ドイツ大会の決勝が行われ、日本代表の「なでしこジャパン」は、米国をPK戦の末に下し、初優勝しました。「なでしこジャパン」は、「最後まであきらめないひたむきな姿勢で国民にさわやかな感動と、東日本大震災などの困難の中で、困難に立ち向かう勇気を与えた」として国民栄誉賞が贈られました。また、地上波テレビでは東日本大震災の被害が大きかった東北3県を除く44都道府県でデジタル放送完全移行などのニュースもありました。

しかし、3月11日宮城県沖を震源とした「東日本大地震」は日本の観測史上最大規模の震度7、マグニチュード9.0で死者・行方不明者は約2万人、被害総額は16兆9千億円で阪神大震災の1.8倍になりました。震災に伴い、東京電力福島第1原発では全電源が失われて原子炉が冷却できず、炉心溶解が起きました。さらに水素爆発で大量の放射性セシウムが大気中に放出され、原発近くで暮らす地域住民は避難生活を余儀なくされました。この事故に伴い、東京電力は電力不足で計画停電を実施し、7月には電力使用制限も行いました。大企業は電力使用の15%削減も強制され、自動車メーカーには輪番休業するなどの影響も出ました。

テレビ朝日は震災直後から、系列局も含めて震災速報、被災、復旧、復興情報を多面的かつ的確に報道するように総力をあげて努め、更に震災発生直後の3月15日に「東日本大震災」の被災者の皆さんため「ドラえもん募金」を開始しました。「報道ステーション」、「ワイドスクランブル」、「Jチャンネル」などの多くの報道・情報番組を通して全国の視聴者の皆さんに募金の呼びかけを行いました。9月30日までに多くの皆さんから頂いた善意の募金は、総額21億56,030,902円集まりました。「ドラえもん募金」は、テレビ朝日福祉文化事業団を通じて、岩手県、宮城県、福島県の自治体および日本赤十字社、ジャパンプラットフォーム、国連WFP協会などに寄託して被災者支援を行いました。

2011年の年間流行語大賞には「なでしこジャパン」が選ばれ、ほかに「絆」、「風評被害」、「3.11」、「帰宅難民」などがノミネートされました。また、日本漢字能力検定協会が全国から応募した漢字では「絆」が最多に選ばれました。「東日本大震災」などでボランティア活動、互いが助け合おうという思いが国内に高まりをみせました。人と人の繋がり、家族の絆が改めて見直された年でもありました。

テレビ朝日福祉文化事業団では、テレビ朝日グループ各社、関係先の皆さんと共に「こころ」を一つにして、さらに「優しさと思いやりと勇気」がみんなの心の中に根づき、大きく育つことを願っています。「児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉」に寄与し、皆さんが楽しく元気よく共生してゆける社会となるよう、さらに日々の活動に邁進する所存であります。

今後とも、より多くの皆さんの一層のご支援とご協力を願っています。

★社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団は、1977年NETからテレビ朝日に社名変更を機に、より幅広い社会活動をめざして設立されました。事業団は1951年に施行された社会福祉事業法に基づく第2種社会福祉法人として申請・認可されたもので、事業活動を通じて社会福祉全般の増進にあたることを目的としています。

事業報告 Pick up 特集

Part 01 児童福祉

はじめに	1
トゥレヴァン コンチエルト	4
高校生海外生活体験の旅 in シアトル	6
第 5 回 演劇ワークショップ「Re-Action」	8
江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会 2011 野球の部	9
児童福祉施設職員のためのワークショップ	9
第 53 回 慶彩会展	10
第 57 回 全国里親大会	10
「子供 キラット! 発表会」	11
高齢者施設訪問	12
けやき坂カルチャー教室	13
第 13 回 クブナ・フラ・フェスティバル	14
高齢者への暴力防止プロジェクト助成	15
第 4 回 国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」	15
ボボロファミリー童謡チャリティコンサート	15
障がい者施設への設備助成	16
発達障がいを持つこども達のためのキャンプ	17
第 34 回 わらじの会 夏合宿	17
血友病患者の子供たちを支援するむさしの会スマーキャンプ	17

Part 03 障がい者福祉

第 34 回 車椅子バスケットボール秋季大会	17
日本車椅子バスケットボール第 8 回 ジュニア選手育成講習会	17
第 35 回 ハンディスキーキ親善大会	17
厚生労働大臣杯争奪第 41 回 全国身体障害者スキー大会	18
身体障害者スキー第 27 回 関東大会	18
第 26 回 全日本視覚障害者柔道大会	19
第 15 回 電動車椅子サッカー関東大会	19
第 36 回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会	19
第 5 回 記念全東京ろう社会人軟式野球 TDリーグ戦	19
第 13 回 ウィルチャーアーラグビー日本選手権大会	20
第 27 回 DPI 日本会議全国集会 in 沖縄	20
はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー授賞式	20
その他の障がい者福祉事業・団体への支援	21
プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント	21
一般福祉	21
ドラえもん募金「東日本大震災」支援	22
ドラえもん募金「東日本大震災から 1 年」	24
ドラえもん募金寄託一覧	24
その他義援金	27
平成 23 年度 事業一覧	28
平成 23 年度 収支報告	29
平成 23 年度 ご寄附者のご報告	30
テレビ朝日福祉文化事業団 理事・評議員	31
加盟する福祉団体	31
ご寄附のお願い	32

Part 03

その他の事業報告等 Part 04

元気を応援! 特集 ▶ PICK UP①

H a n d i c a p 障がい者福祉

★ Tulevan Concerto vol.3

主催

このコンサートは、音楽家をめざしてハンディキャップを克服し、才能を發揮すべく努力を重ねている人たちを支援し、夢や希望を実現させるための「場」と「機会」を設けることを主眼にはじめました。「トゥレヴァン・コンチェルト」とは未来へのコンサートという意味です。第1回は赤坂区民ホール、第2回は芝公園のメルバルクホールで開催し、より多くのお客様をご招待できるようになりました。

第3回は、渋谷公会堂で開催いたしました。スペシャルゲストに館野 泉氏と川島 成道氏をお迎えし、「トゥレヴァン・コンチェルト」ならではの豪華なゲストの演奏を披露していただき、会場全体が感動と勇気に包まれました。

今回のゲストは、先天性黒内障という難病で、生まれつき弱視でありながらも2歳からヴァイオリンを始め、楽譜を点読みして、演奏活動を続けている荒木温子さんと先天性弱視のハンディを抱えながら音楽の道を目指し、活発な演奏活動を行っているヴァイオリニスト鶴川晴子さんです。それぞれムジークフェライン室内楽団の演奏とともに息のあった素晴らしいハーモニーを奏でて聴衆を元気づけました。

また、吉松 隆氏が館野 泉氏のために作曲した「ケフェウス・ノート」をムジーク楽団をバックに、館野氏自らが不協和音の連打(手のひらや肘打ち)の演奏を披露しました。また、視覚障がいのあるヴァイオリニスト川島 成道氏による心を揺むような美しい音色で多くの聴衆が魅了されて、大変有意義なコンサートになりました。車椅子の方、視覚障がいの方、盲導犬をお連れの方々をはじめ1,350名を超える多くの来場者がありました。障がいがあるにも関わらず、お互いに助け合って元気を持ち寄り、未来に向けて挑戦して行こうという本来の「トゥレヴァン・コンチェルト」の目的が達せられたコンサートでした。

私どもは今後も広く福祉活動を展開し、心のかよった、ともに生きる社会作りに貢献していく所存です。

日 時：平成 23 年 10 月 29 日(土) 午後 3 時～5 時

会 場：渋谷公会堂(渋谷区)

主 催：テレビ朝日福祉文化事業団

共 催：渋谷区、東京六本木ライオンズクラブ、東京原宿ライオンズクラブ

後 援：港区、港区教育委員会、(社福)東京都社会福祉協議会

協 力：NPO 法人 AVA

運 営：障がい者芸術家を支援する会



フィナーレの後、出演者全員で記念撮影



5 本の指に情熱を込めて、優美で繊細に演奏する館野 泉さん

●来場者から次のような感想・感謝のことばをいただきました。

❖「感激深いコンサートへ、ご招待いただき、ありがとうございました。涙が出るほど、幸せな幸せな時間を過ごすことができました。本当に本当に、ありがとうございました。」

❖「川島さんのヴァイオリンは、いつ聴いても心を和ませてくれます。本当にすばらしいです。日ごろのストレス解消とともに、とてもリラックスすることができました。館野さんのピアノとムジークフェライン室内楽団のコラボもとてもよかったです。すばらしい演奏をありがとうございました。」

❖「演奏された皆さんには重度の障がいを克服され、本当に素晴らしい演奏をされ、心から感動致しました。言葉での表現は出来ません、私もおおきな力と勇気を戴きました。」



★ 館野 泉氏 (たての いずみ) ピアニスト

1936年東京生まれ。60年東京藝術大学を首席卒業。64年よりヘルシンキ在住。国際的ピアニストとして世界各地で3500回以上の公演を行った。02年脳出血により半身不随となるが04年「左手のピアニスト」として復帰。そのまま多くの作品が歴史的記録に残された。08年旭日小綬章受賞。



美しい音色とユーモア溢れる路地でますますファンを増やした川島成道さん

★ 川島 成道氏 (かわはた なりみち) ヴァイオリニスト

1971年東京生まれ。視覚障がいを負った幼少期にヴァイオリンと出会い、音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学し、97年首席卒業。現在、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な演奏活動を展開している。デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。



ピアノ五重奏でヴァイオリンの甘いさやきを奏でる鶴川 晴子さん

★ 荒木 温子氏 (あらき あつこ) ヴァイオリニスト

先天性黒内障という難病で生まれつき弱視でありながら、2歳からヴァイオリンを始め、中学1年時には視力のほとんどを失い、楽譜を点字に替え演奏活動を続けた。2005年第55回ベヘン・ケラー記念音楽コンクールにて優勝。

★ 鶴川 晴子氏 (えいかわ はるこ) ヴァイオリニスト

先天性弱視のハンディを抱えながら音楽の道を目指し、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部、同大学研究科を卒業。2000年ドイツへ留学。ミュンヒェン音楽演劇大学において2年間の課程を修了。Meisterklassendiplomを取得し帰国。

★ 中野 瑞己氏 (なかの みずき) ヴァイオリニスト

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽部卒業。その後ジュリアード音楽院にて学ぶ。ヴァイオリンは3歳から始め、15歳の時にオーケストラと共に演奏。現在は社会貢献活動を積極的にこなし、音楽のもう力を活かし、病の和らげに役立つための研究を続け、さまざまなアーティスト達と共に演奏している。

元気を伝授! 特集 ▶ PICK UP ②

C h i l d d
児童福祉

★高校生海外生活体験の旅 in シアトル

主催

今年で11回目を迎えるこのプログラムは、児童養護施設で生活する高校生を対象にしており、海外での家庭生活と社会活動を通して異文化を体験するとともに、国際的な視野を養い国際人としての第一歩を踏み出すことを支援する目的で毎年開催しています。

海と緑に囲まれたその美しさから「エヌラルドシティ」の愛称を持ち、アメリカの中でも暮らしてみたい憧れの都市、シアトルに10人の高校生を選抜して「高校生海外生活体験の旅」を開催しました。

今年もマイクロソフト社、ボーイング社(工場)の見学をはじめ、イチロー選手が活躍するシアトルマリナーズ対松井秀喜選手のいるアスレチックス戦の試合をマリナーズの本拠地セーフコフィールドで観戦しました。マウントレーニエ国立公園ではトレッキング、スーパーマーケットでは買い物などを体験し、更に日本とアメリカとの違いを肌で感じつつ、広い視野を育みました。これからキャリアを考えるための良い刺激になる体験を出来たこと思います。

各自全泊ホームステイして週末とともにホストファミリーとの生活を体験し、昼間は英語のレッスンをはじめ、それぞれ設定された行事に参加するというプログラムでした。

最初、家族の言っていることが聞き取れず何を言っているのか全く解らなかったホームステイ初日。その晩は、時差ぼけの眠い眼をこすりながら一生懸命に辞書を開き、電子翻訳機を使い、最後にはボディランゲージで表現して会話を挑戦したそうです。ホストファミリーの温かいおおらかなもてなし、子ども達の心を安心させ、家族との絆が生まれ、日増しに耳が慣れたせいもあり、徐々に相手の発言内容が理解出来るようになって、子ども達の口から、英語がたくさん出てくるようになりました。その事によりファミリーとの距離が縮まり、更に自信がつき、笑顔で会話をしている高校生の姿に対応力と柔軟性の高さを感じました。最終日のフェアウェルパーティーでは、元気よく日本の文化について英語で発表し、また、高校生全員でダンスを踊り、「栄光の架橋」を合唱しました。そしてホストファミリーと一緒に「We are the world」を合唱し、大変な盛り上がりを見せました。

家族の愛情を受けた高校生は、辛いことも、夜自分の部屋で泣いたこともあったかも知れません。しかし、心を開き精一杯自分を表現し、相手に理解してもらおうと努力し頑張ったこと思います。その自信と勇気を何時までも忘れないで、これからも与えられた命を大切にし、長い人生を頑張って生きていって欲しいと願っています。



マウントレーニエでトレッキング 悲わずジャンプ

参加者の感想文から抜粋

●今まで色々な経験をしてきましたが、私にとつて自分自身を変えるとでも貴重な経験でした。家族はなにがあっても一緒に笑っていることがすごく幸せと感じました。

●これからは自分の力を信じて、色々なことに前向きに挑戦したい。この一週間は一生の思い出です。

●今回一緒にアメリカに行った人たちは、私にとつてとっても大切な存在になりました。コミュニケーションにとって一番大事なことは、言葉ではなく自分の心を聞くことと思いました。

○アメリカで学んだことは、家族の温かさ、とても心が広いこと。思っていることは声を出さないとなかなか伝わらないこと。

●今後の目標は、英語力をつけて、また、ファミリーに会いに行くこと。旅で出会った人や見たもの全て大事にしたい。

○自分から話しかける積極性を得ることが出来ました。今回の旅では涙を流すことがあり、辛い思いをしたこともあった。その分ホストファミリーとの仲が深りました。

●人とのコミュニケーションの大切さを知ることが出来ました。積極的になつたり、何事にもチャレンジするようになりました。これからは失敗を恐れず上向きで頑張って行きたい。みなさんと会えて本当によかったです。

○たくさんの人と出会い、たくさんのことを学び、知り、自分の心の中の何かが変化することが出来ました。自分の心の殻をやぶり、多くの人々と出会い、学ぶことがこんなにも幸せになり、暖かい気持ちになることが出来るのだということを知りました。

これから続く長い人生、出会い、喜び、真心、感謝の気持ちを持ち、頑張って行きたい。



フェアウェルパーティに集まつたホストファミリーと参加者のみなさん

日 程：5月 6日（金）応募締め切り（作文ほか）

5月 22日（日）面接選考

5月 24日（火）参加者決定

6月 12日（日）結団式

7月 27日（水）～8月 4日（木）（シアトル・7泊9日）

9月 4日（土）フォローアップ研修

参加者：高校生 10人（男子3人、女子7人）

（東京・神奈川・埼玉・千葉の10児童養護施設）

主 催：テレビ朝日福祉文化事業団、

（社団）東京都社会福祉協議会

後 援：公益財団法人原田横善会

海外体験の旅 2011 日程表	
7/27 (木)	成田空港→シアトル (DL296便) シアトル空港着（同日 午前着） シアトル観光 【ホームステイ】
7/28 (水)	英語レッスン ワシントン大学・マイクロソフト社見学【ホームステイ】
7/29 (木)	マウント・レニエでトレッキング 【ホームステイ】
7/30 (金)	ホストファミリーと一緒に マリナーズ対アスレチックス戦を観戦 【ホームステイ】
7/31 (土)	ホストファミリーと一緒に 英語レッスン ボーイング工場見学 マリナーズ対アスレチックス戦を観戦 【ホームステイ】
8/1 (月)	マリナーズ対アスレチックス戦を観戦 ボーイング工場見学 【ホームステイ】
8/2 (火)	英語レッスン 飛行機でアラモアナ活動のお手伝い 「お別れパーティー」 ホストファミリーへ英語のご挨拶 【ホームステイ】
8/3 (水)	アカデミックセンターからシアトル空港へ向けて出発 シアトル空港到着 シアトル→日本 (DL295便) 【機内】
8/4 (木)	成田空港到着、解散

Part 01 児童福祉 元気な様!

児童養護施設児童対象

■第5回演劇ワークショップ「Re-Action」

◎主催

様々な事情で児童養護施設で暮らしている子どもたちの中には、自己表現が苦手であったり、人間関係を上手に築けない子どもたちもいます。児童養護施設で生活する中高生を対象にしたこの演劇ワークショップは、子どもたちに演劇の手法を用いて自信を身につけてもらいたい、集団行動の中で、自分を表現する力やコミュニケーションの大切さを学んでもらうことが目的です。今回で5回目となり、3人の講師の先生方にダンス、演劇の指導をいただき、また各施設のケアワーカーの先生方のサポートを受けながら14人の子供たちは、10月8、9、10日の3日間をこどもの国で合宿、10月16日、23日、30日、11月3日、6日の5日間をテレビ朝日日本社リハーサル室で、朝9時30分から17時過ぎまで、こどもの国での発表会に向けて、ダンスと演劇の練習でたくさんの汗をかき、表現力やチームワークに必要なコミュニケーション能力を身につけたと思います。

当初は初対面の子どもたちが多く、ぎこちない台詞であったり、声が殆ど出なかったり、またダンスでは、身体をうまく動かすことが出来なかったりでしたが、徐々に子どもたちが楽しそうな表情になり、13日の発表会では、見違えるほどダンスや演技が、出来るようになりました。

日 程：平成23年10月8日(土)～10日(月)、10月16日(日)、23日(日)、30日(日)

11月3日(木・祝日)、6日(日)

発 表 会：平成23年11月13日(日) (こどもの国)

場 所：こどもの国(横浜市)、テレビ朝日(港区)

主 催：テレビ朝日福祉文化事業団

後 援：東京都社会福祉協議会、埼玉県社会福祉協議会、千葉県社会福祉協議会、神奈川県社会福祉協議会

茨城県社会福祉協議会、栃木県社会福祉協議会、群馬県社会福祉協議会、全て(社福)

講 師：中野昌宏氏(コーディネーター・演出家・監督)／三橋 漢氏(役者・演出家)／南 陽介氏(役者・振付け師)

ケアワーカー：大原岳夫氏(児童養護施設カルテット)／服部 環氏(児童養護施設クリスマスヴィレッジ)／塩原友紀氏(児童養護施設至誠学園)



発表会で全員そろってダンス



一生懸命ダンスの練習をする参加者のみなさん

■江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会 2011 野球の部

◎共催

恒例の江戸っ子杯争奪東京都社会福祉施設競技大会 2011・野球の部が、7月27日～28日の2日間に渡り、2年越しで新装となった三鷹市の大沢グラウンドで開催されました。今年の参加チームは11チーム(昨年は10チーム)。2日間とも朝方はお湿り程度の降雨で野球日和。そして今年もゲストは魂のエースと呼ばれたジョニー黒木さん(元ロッテ)。黒木さんの「チームプレーで頑張ろう!」の挨拶、そして始球式で熱戦が繰り広げられました。審判団は三鷹市軟式野球連盟が全面協力。また黒木さんには、精力的に2面のグラウンドを往復して選手たちにアドバイスと声援を送っていただきました。黒木さんの的確なアドバイスで3塁打を放った女の子にベンチは大盛り上がり…。

「江戸っ子杯」はサポーターがとても充実しています。テント張りからグランド整備、土で汚れたはボールは一つ一つ丁寧に洗つて審判に渡すなど目配り、気配り、健康管理とそして熱烈応援。

優勝は昨年度に続いて目黒若葉祭、準優勝は東京都石神井学園、3位は伊豆長岡学園、4位は至誠学園でした。事業団では優勝チームほか上位のチームにトロフィーとグローブ、参加者全員にスポーツタオルをプレゼントしました。



元ロッテのエース・ジョニー黒木さんの始球式

日 時：平成23年7月27日(水)～28日(木)

場 所：三鷹市大沢グラウンド

参 加 者：児童養護施設の小中学生 約150人

共 催：(社福)東京都社会福祉協議会児童部会

テレビ朝日福祉文化事業団

後 援：東京都、(社福)毎日新聞東京社会事業団

(社福)報知社会福祉事業団

被虐待児童理解のための職員研修

■児童福祉施設職員のためのワークショップ

◎共催・助成

「子どもの話を聞く」「子どもの気持ちを受け止める」「子どもに気持ちを伝える」…などのコミュニケーションスキルを学ぶため、1泊2日の児童福祉施設職員のためのワークショップが開催されました。

現在、児童福祉施設では被虐待児童など、行動上の問題を抱えた児童が増加しています。これらの背景には家族の問題や、地域社会の影響によるところが多く、児童福祉分野に従事するスタッフには、その理解とより高度で専門的なトレーニングが求められています。

今回も、1980年代から児童虐待、ネグレストの問題に取り組み、日本両国で児童やその家族に対するコミュニケーションスキルトレーニングに取り組まれてこられたDr.田中万里子先生をお迎えし、開催されました。



日 時：平成23年10月25日(火)～26日(水)

場 所：ザ・クレストホテル立川(立川市)

共 催：(社福)至誠学舎立川・至誠学園/テレビ朝日福祉文化事業団

●第 53 回 慈彩会展

後援・助成

財界、医学会、官界、その他社会の第一線で活躍し、日頃の趣味として絵画、書道、工芸などに親しんでいる同好の方々が、それぞれの作品を少しでも社会福祉に役立てたいという気持ちから「社会福祉施設に絵を贈る運動」として 1958 年に「慈彩会」が発足されました。

今年で 53 回目を迎え、日本橋三越本店で 7 月 20 日より開催されました。今回も常陸宮妃殿下より温かいご理解と賛助出品を頂いた他、趣旨に賛同した芸術家も多く参加され、作品が約 200 点に及ぶ展览会となりました。

福祉施設を善意の作品で潤すという意義ある文化活動は、これまで全国の福祉施設 3,406 施設へ、贈呈作品 4,845 点、助成金は 81,507 千円となっています。

日 時：平成 23 年 7 月 20 日（水）～ 25 日（月）
場 所：日本橋三越本店（中央区）
主 催：慈彩会
後 援：厚生労働省、東京都、（財）日本民生文化協会
テレビ朝日福祉文化事業団 他



■第 57 回 全国里親大会

共催・助成

今年の全国大会は、『子どもの命を守り、育て、つなげていこう未来へ～里親のできることは？～』をテーマに、ウィル愛知（愛知県女性総合センター）で開催されました。現在、家族の絆や地域の連帯感の希薄化など、子どもとその家族を取り巻く環境は大きく変化し、家庭や社会の中でさまざまな問題が発生しています。そして、社会的養護を必要とする子どもたちが多く存在しています。

社会的養護の中で、家庭的養護を可能にできるのは里親ですが、その里親は地域社会の変化に対応し、育成についての知識と理解を深め、自らが豊かな人間性と愛情を持って、「社会的養護」という重要な役割を担うことを求められています。そのような中で、里親制度を多くの方に理解してもらい、里親、そして児童福祉に関わる大人たちが、「子どもの命を守ること」を学ぶ目的で開催されました。

会 期：平成 23 年 10 月 1 日（土）～ 2 日（日）
会 場：ウィル愛知（愛知県女性総合センター）
主 催：厚生労働省、愛知県、（財）全国里親会、愛知県里親会連合会、（社福）NHK 厚生文化事業団
(公財)資生堂社会福祉事業団、テレビ朝日福祉文化事業団 他

その他の事業

●こどもの国のお正月行事「ジャンボカルタ取り大会」「どんど焼き」

助成

【カルタ取り】
日 時：平成 24 年 1 月 2 日（月）、3 日（火）
場 所：こどもの国（横浜市）
【どんど焼き】
日 時：平成 24 年 1 月 14 日（土）
場 所：こどもの国（横浜市）



●第 61 回 社会を明るくする運動「匠に学ぶワークショップ in 東京藝術大学」

後援名義

日 時：平成 23 年 7 月 30 日（土）
場 所：東京藝術大学（台東区）
主 催：東京藝術大学、「社会を明るくする運動」中央推進委員会 他
共 催：台東区、台東区保護司会、台東区更生保護女性会
後 援：社団法人全国保護司連盟、テレビ朝日福祉文化事業団

●自立援助ホーム「憩いの家」バザー

後援名義

日 時：平成 23 年 12 月 20 日（火）～ 25 日（日）
場 所：日本橋高島屋（中央区）
主 催：（社福）青少年と共に歩む会

●日本児童養護実践学会 第 4 回 研究大会

後援名義

日 時：平成 24 年 2 月 18 日（土）
場 所：白梅学園大学（東京都小平市）
主 催：日本児童養護実践学会

●第 5 回「家族週間」子育て童謡コンサート

後援名義

日 時：平成 23 年 11 月 19 日（土）
場 所：ルネセイド（東京都小平市）
主 催：日本と世界の愛唱歌をうたう会

■「子供 キラット！発表会」

主催

「子供 キラット！発表会」は、児童養護施設で生活する子どもたちが音楽、ダンスなどを通して、表現力、積極性、協調性などを高めることができるのが狙いのイベントです。テレビ朝日福祉文化事業団は、関係者の皆さんの協力を得ながら、「子どもたちの笑顔＆元気」の応援企画として準備を進め、11 月 13 日（日）に、横浜市の「こどもの国・皇太子記念館」で発表会を開催しました。

当日は、バンド演奏、ヒップポップダンス、日本の四季の歌メドレー、合唱、創作舞踊、ブレークダンス、日本舞踊、演劇と多彩な演目が並び、ご観覧の皆さんに充分に楽しんでいただけたようです。出演の子どもたちは幼稚園児から高校生までで、児童養護施設の職員も出演するなど幅広い年齢層の参加によるものでした。出演の子どもたちは、普段の学校の勉強、クラブ活動以外に今回の発表会に向けて時間を割き、それぞれの演目に対してとても頑張って練習を積んで参加してくれました。自分たちの演目には出演するときはもちろんのこと、ほかの人たちの演目にも目を輝かせて観覧していました。

日 時：平成 23 年 11 月 13 日（日）
場 所：こどもの国 皇太子記念館（横浜市青葉区）
主 催：テレビ朝日福祉文化事業団
後 援：（社福）東京都社会福祉協議会児童部会



Part 02 高齢者福祉 元気な後!

◎主催

■高齢者施設訪問

高齢者施設訪問では、特別養護老人ホームをはじめ、有料老人ホームやデイケアセンターなどの高齢者施設をプロの歌手、タレント、女優の皆さんが訪問して、高齢者の皆さんに楽しい時間を過ごしていただいています。

昭和 62 年に施設訪問が始まってから、合計 139 回を数えました。今年は 12 の施設を訪問しましたが、どの施設でも昔懐かしい歌謡曲・民謡・童謡などに、高齢者の皆さんと一緒に手拍子をしたり、また、お芝居などを見ながら、全身で喜びを表現してくださいました。今年は新たに、原田直之さん、大津美子さんをお迎えし、民謡から歌謡曲まで、高齢者の皆さんに幅広く、若かりし頃を懐かしみながら楽しんでいただけたる涙あり、笑顔ありの施設訪問を行いました。

①日 時：平成 23 年 5 月 25 日(水)
会 場：三鷹市・恵比寿苑(三鷹市)
ゲスト：原田直之(民謡歌手)



②日 時：平成 23 年 6 月 1 日(水)
会 場：きたざわ苑(世田谷区)
ゲスト：三浦きよし＆ナインシックス
(ボランティアグループ)



③日 時：平成 23 年 6 月 9 日(木)
会 場：白十字・八国苑(東村山市)
ゲスト：恵り香(歌手)



④日 時：平成 23 年 6 月 23 日(木)
会 場：竹の里(八王子市)
ゲスト：八波一起(タレント) & 三咲順子(女優)



⑤日 時：平成 23 年 7 月 20 日(水)
会 場：池上長寿園(大田区)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)



⑥日 時：平成 23 年 10 月 11 日(火)
会 場：高松園(練馬区)
ゲスト：原田直之(民謡歌手)



⑦日 時：平成 23 年 10 月 19 日(水)
会 場：浴風苑(世田谷区)
ゲスト：大津美子(歌手)



⑧日 時：平成 23 年 11 月 29 日(火)
会 場：ケアコート武藏野(三鷹市)
ゲスト：ボボロ(日本と世界の愛唱歌をうたうう会)

⑨日 時：平成 23 年 12 月 7 日(水)
会 場：江戸川光熙苑(江戸川区)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)

⑩日 時：平成 23 年 12 月 13 日(火)
会 場：三鷹市・恵比寿苑(三鷹市)
ゲスト：八波一起(タレント) & 三咲順子(女優)

⑪日 時：平成 24 年 2 月 8 日(水)
会 場：親の家(武蔵野市)
ゲスト：恵り香(歌手)

⑫日 時：平成 24 年 3 月 2 日(金)
会 場：武蔵野ホーム(板橋区)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)

高齢者施設訪問を振り返って

東京都 23 区内だけでも、500 前後の老人ホームの施設があり、大勢のお年寄りの皆さんが施設に入居されております。施設の規模は大小様々で、お年寄りの年齢も、戦前戦後を通して色々なご苦労をされた、65 歳前後から 100 歳を超える皆さんがおられます。

事業団では、主に東京都(一部神奈川、千葉、埼玉)の老人ホームに訪問して大津美子さん、こまどり姉妹さん、民謡の原田直之さん、演歌歌手の恵り香さん達をお連れしました。お年寄りの皆さんに喜んで、また楽しんでいただこうと、昭和 62 年から施設訪問を開始し現在までの 25 年間で 139 回を数えます。また 2012 年度 4 月以降から新たに園まろさんに協力をいただき施設訪問をすることになりました。

施設のお年寄りの皆さんには、お連れした出演者の皆さんのが歌を歌うように聞かれます。時には笑い、時には涙して 1 時間の短い間ですが、歌い終わるたびに大きな拍手があり、会場は一体となって、毎回大いに盛り上がります。各施設の施設は皆さんとも楽しそうな顔をしていました。「本当に有難うございました」と施設を後にすると、言葉をいただき、我々事業団のスタッフも多くの老年寄りの笑顔に会えて本当によかったですと思ふ施設訪問となっております。

六本木で楽しみながら創作活動♪

■けやき坂カルチャー教室

共催

このカルチャー教室は、高齢者の皆さんに文化活動を通じて楽しみながら生きがいを見つけ、友達作りをしてもらおうと始めました。会場は六本木ヒルズのテレビ朝日にある多目的スペース「umu」で、毎月 1 回、趣味の講座を行っています。

午後 1 時、教室のはじめは手話を学習する時間です。細かな日常会話を手話で表現することはとても具体的で興味深いものです。皆さん身体を動かし、口を動かし楽しむひと時になります。こうした時間は当事業団ならではのもので、障がい者の方への理解を深める一助になればと考え実施しています。

カルチャー教室は、① 特殊な加工によって生花のように咲き続けるプリザーブドフラワー、② 粘土を捏ねて人形の形を作り、レースと布を貼り付けて飾って焼く、豪華な陶器のレースドール、③ 立体的な御装を作るデコラティブアレンジメント、④ ペンや筆を使い写経などを書くことを楽しむ書道、⑤ アクセサリーに最適なアートクレイシルバー、⑥ 皿やグラスに絵付けをするチャイナペイントなど、6 つの講座を開催しています。毎回 5 ~ 60 人が 1 つのスペースで学ぶという一風変わった教室ですが、次は別の講座を受けてみようなどいろいろ楽しむことができるのも良いようです。また受講生同士も親しくなり、教室後にお茶を楽しんだり、旅行に出かけたりと交流が深まっているようです。月 1 回の教室ですが、お互いに刺激を受けながら創作活動に励んでいらっしゃいます。

受講生は神奈川、千葉、埼玉からもいらっしゃいます。

日 時：平成 23 年度 年 10 回開催(毎月 1 回、8 月と 12 月を除く)
講 座：レースドール、プリザーブドフラワー、書道、アートクレイシルバー、デコラティブアレンジメント、チャイナペイント
会 場：テレビ朝日 多目的スペース「umu」(港区)
参加費：材料費(講師費用は事業団負担) 受講生：50 ~ 60 人(毎回)
共 催：さわやかグループ

■第13回 クブナ・フラ・フェスティバル

共催

「クブナ・フラ・フェスティバル」は、フラを通じてより豊かで潤いのある文化生活を創るとともに、高齢者がいつまでも元気で社会や地域で活躍し、楽しく仲間作りに参加出来る機会として企画され、1999年国連が提唱した国際高齢者年記念事業としてスタートしました。今年で第13回を迎え、最高齢88歳のクブナ、出場者延べ600名を超えるクブナが集合し、日頃の練習の成果を発揮してクブナならではの円熟したフラダンスを披露しました。

今年も昨年に引き続き中野サンプラザホールにて2日間の開催となりました。参加されたクブナ(シニア)の皆様の中には80歳を超える方も多い、手の指先の表現から足のつま先までの動きに神経を使い、曲目に合わせた赤や青など色とりどりの衣裳の素晴らしさ、そして綏やかなハワイアンソングに合わせてゆったり優雅に舞う姿は多くの観客を魅了しました。

出場されたあるクブナに伺ったところ、「ステージでは非常に緊張しました。フラは中腰の姿勢が多く、優雅に見えるフラダンスも見た目よりは下半身を使うのです」と答え、それでも無事終えたフラダンスにとても満足した笑顔が印象的でした。

24日・25日の両日に出演された30人の主宰者に対し、ニール・アバクロンビー・ハワイ州知事から感謝状が贈られました。

日 時：平成23年6月24日(金)、25日(土)

場 所：中野サンプラザホール(中野区)

主 催：クブナ・フラ・フェスティバル運営委員会

共 催：(社)テレビ朝日福祉文化事業団、(財)日本チャリティ協会

後 援：東京都、(財)全国老人クラブ連合会、(社)東京都老人クラブ連合会

ハワイ州、ハワイ州観光局



●高齢者への暴力防止プロジェクト助成

後援・助成

～心豊かに安心して暮らすために～

高齢者を暴力、虐待から守るためのあらゆる活動を応援します。

高齢者への暴力、虐待の防止、予防、ケア、教育、啓発に携わる団体、グループ、新たな事業や、地域で活動する高齢者サークル、自治会、町内会、高齢者支援グループ、団体などが行う虐待防止につながる間接的な取り組みをしている事業など、全国12団体へ助成しました。

主 催：朝日新聞社、(社)朝日新聞厚生文化事業団

後 援：厚生労働省、(社)テレビ朝日福祉文化事業団

●第4回 国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」

特別後援・助成

東日本大震災で延期されていた国際シニア合唱祭が平成24年3月8日、被災地への一日も早い復興を祈り開催されました。「～いつまでも健康で生きがいのある人生～」ゴールデンエイジの仲間たちの輪を合唱という大きな響きにして、国際都市に相応しい横浜から世界に発信しようという国際シニア合唱祭が、横浜みなどみらい大ホールで開催され、今年で4回目を迎えます。同じ世代の同じ志を持つ方々の合唱祭で、歌うのも、裏で支えるのも高齢者です。最高年齢95歳の方、平均年齢78歳の合唱団、75歳以上の方しか入団できない合唱団などが紹介され、地元横浜市をはじめ、被災された岩手県、茨城県などのシニア合唱団、80団体、延べ3000名の方々が参加されました。

女性コーラスの美しく澄みとおった歌声が、混成合唱団の重厚な響きが、みなとみらいホール全体に響きわたりました。受賞式には「ほほえみ賞」、「いきいき賞」、「うるわし賞」などの賞が授与されました。

日 時：平成24年3月8日(木)、9日(金)

場 所：横浜みなどみらいホール(横浜市)

主 催：ゴールデンウェーブ開催委員会・横浜みなどみらいホール

特別後援：(社)テレビ朝日福祉文化事業団、(社)朝日新聞厚生文化事業団

後 援：神奈川県、横浜市、(社)全日本合唱連盟 他



●ボボロファミリー童謡チャリティコンサート

後援・助成

①日 時：平成23年7月2日(土)

場 所：東大和市民会館(東京都東大和市)ハミングホール

②日 時：平成24年3月31日(土)

場 所：ルネこだいら(東京都小平市)

出 演：山田大輔(テノール)、山田昌子(ソプラノ)他

主 催：NPOボボロ(日本と世界の愛唱歌をうたう会)

Part 03 障がい者福祉

元気を応援!

■障がい者施設への設備助成

●設備助成

資金不足や公的援助では十分とはいえない障がい者の施設に対し、施設利用者に必要な器具、備品、設備を1施設30万円以内で助成しています。

今年度は、次の13の施設に助成を実施しました。

1 業務用冷凍冷蔵庫	あしたや	(東京都 多摩市)
2 木製椅子 12脚	ぶどうの木	(神奈川県 鎌倉市)
3 プリンター	わいわいクラブ	(神奈川県 横浜市)
4 エアコン 2基	ワークショップどすこい	(神奈川県 横須賀市)
5 ラベルプリンター	あんしん農園	(神奈川県 横須賀市)
6 卓上密封包装機	下町作業所	(神奈川県 横須賀市)
7 アルミ缶圧縮機	すみれの家	(神奈川県 松田市)
8 ブラインド	アルファ工房あおぞら	(千葉県 旭市)
9 レジスター	とうふ工房豆のちから	(千葉県 松戸市)
10 ミニ耕運機・種まき機	いもむし	(千葉県 柏市)
11 業務用冷凍冷蔵庫	一粒舎	(千葉県 木更津市)
12 ガスオーブン 2台	カレンズ	(千葉県 茂原市)
13 作業用テーブル	作業所ひな	(埼玉県 さいたま市)



●発達障がいを持つこども達のためのキャンプ

後援・助成

日 時：平成23年7月21日(木)～24日(日)
場 所：HCC(ヒゲッチキャンプグラウンド)(埼玉県児玉郡)
主 催：児童養護施設カルテット

●第34回わらじの会 夏合宿

助成

日 時：平成23年8月26日(金)～28日(日)
場 所：国民宿舎つばね(茨城県石岡市)
主 催：わらじの会

●血友病患者の子供たちを支援するむさしの会サマーキャンプ

助成

日 時：平成23年7月29日(金)～7月31日(日)
場 所：ラフォーレ修善寺(静岡県伊豆市)
主 催：むさしの会

■第34回車椅子バスケットボール秋季大会

共催・助成

日 時：平成23年10月9日(日)
場 所：馬入ふれあい公園ひらつかアリーナ(神奈川県平塚市)
共 催：テレビ朝日福祉文化事業団、日本車椅子バスケットボール連盟
協 力：平塚市社会福祉協議会、平塚バスケットボール協会 他



●日本車椅子バスケットボール連盟第8回ジュニア選手育成講習会

後援・助成

日 時：平成23年8月25日(木)～28日(日)
場 所：乗鞍青少年交流の家(岐阜県高山市)
主 催：日本車椅子バスケットボール連盟強化指導部

■第35回ハンディスキーキ親善大会

共催

「ハンディスキーキ親善大会」は、障がい者とそのご家族、健常者のスキー愛好家、ボランティアスタッフ、大会役員、競技役員が一緒にになって触れ合い、親交を深め日々の生活がより楽しく豊かになることを目的に毎年開催され、今年で35回になります。

今年は『絆・みんな仲間・思いは“ひとつ”』をテーマに、障がい者の皆さんのが冬の大自然と親しむ、スキーを楽しむ、スキーの普及に寄与するなどの目的で富山県南砺市の「五箇山たいらスキー場」で開催しました。

今回の大会では、北は秋田県、岩手県、南は広島県、鳥取県からの障がい者スキー大会参加選手、ゲスト選手が44名参加しました。初級から上級まで年齢は8歳から77歳の皆さんでした。

大会は富山県砺波地区スキー協議会・南砺市スキー協会、平スキークラブ・富山県スキー連盟、富山県障害者スポーツ協会、富山県身体障害者福祉協議会など役員、競技役員、スタッフ数96名の協力で総勢139名で開催しました。

今回の大会の競技コースは、中・上級、ゲストメーションクラスでは全長 591m、高低差 140m、最大斜度 27 度、旗門数 17 旗門。初級コースでは全長 58m、高低差 45m、最大斜度 15 度、旗門数 8 旗門で行いました。

ハンディスキーには、下肢の不自由な方はストック代わりにカナダで考案された「アウトリガーア」による立位スキー、両足が不自由な方は「チアスキー」で、視覚障がいの方は介助者がアドバイスをしながら一緒にすべる「プライアンドスキー」の 3 タイプがあります。

競技は、全参加選手がコースをアルペジ競技大回転で 2 回滑走して、2 回の滑走タイムの差が最も少ない人が優勝というルールで行いました。

競技の前にコースと隣接したゲストハウスで開会式を行い、地元代表のチアスキーで出場の旗瀬久君(12 歳)が元気に選手宣誓。今大会は北日本、北陸地方に大雪注意報が発令されている中での開催でしたが、運の良いことに五箇山地方は雪がちらつく程度の好天に恵まれました。会場のゲレンデは積雪 300 センチ、気温マイナス 5 度でした。上級クラスでの優勝者は 1 回目滑走タイム 40 秒 71、2 回目滑走タイムは 40 秒 71 で 1 回目と 2 回目の滑走のタイム差は 0 秒 01 と昨年の大会を上回る(昨年度記録 0 秒 62)ハイレベルな競技が展開されました。

競技大会の後は、各クラス別の表彰式、そして、この親善大会のもう一つの目的である出場選手、家族、ボランティア、大会関係者との交流懇親会も温かい会話と笑いの中、時のたつのを忘れて夜遅くまで続きました。懇親会では開催地五箇山出身の方から、五箇山地方の歴史などのお話を聞くこともできました。さらに地元の皆さんのおかげで、地元に伝わる民謡「こきりこ節」の歌と踊りも披露していただき、この親善大会としてはとても楽しく盛り上がりました。

日 時：平成 24 年 1 月 27 日～29 日 場 所：富山県南砺市 たいらスキー場
主 催：日本身体障害者スキー協会、(社福)テレビ朝日福祉文化事業団
共 催：日本障害者スキー連盟 (SAJD)
後 援：富山県教育委員会、富山県身体障害者福祉協議会、南砺市体育協議会

◎たいらスキー場のある五箇山の合掌作りは、平成 7 年世界文化遺産に登録されました。五箇山地方は、険しい山岳地帯だったゆえに、かっては秘境とも呼ばれ、伝統的な合掌造りをはじめ自然や民謡が地元の人たちにより今でも大切に守られています。五箇山には平家の落人伝説もあり、伝統的な民謡や舞いはどこぞの哀愁を帯び、多くの人たちを魅了しています。「合掌造り」は、日本有数の豪雪地帯で知られる岐阜県白川郷・富山県五箇山地方で、特徴的に見られる急傾斜の切妻造り・茅葺きの民家のことです。以前には広い屋根裏で蓄糞が行われていました。五箇山の相倉集落に現存する合掌造りの家々は、江戸時代末期から明治時代に建てられたものと言われています。



●第 26 回 全日本視覚障害者柔道大会

日 時：平成 23 年 11 月 27 日 (日)
場 所：講道館 (文京区)
主 催：日本視覚障害者柔道連盟
後 援：厚生労働省、全国盲学校長会、テレビ朝日福祉文化事業団 他

◆◆◆後援・助成

●第 15 回 電動車椅子サッカー関東大会

重度な身体障がいを持つ方たちの団体競技として、1982 年に大阪で考案された電動車椅子サッカーは、通常のバスケットボールコートと同じコートで、直径 32.5cm のボールを競技用に取り付けたフットガードのある車椅子を巧みに操しながら行うサッカー競技です。1 チーム 4 名で、うち 1 人がゴールキーパー、3 人がコート内を時速 6km で動く車椅子を手・足・口・あごなどでハンドリングしながら、ゴールを狙ってボールを巧みに操ります。

関東大会は、関東ブロック所属チームの選手の交流、技術向上および競技の普及を目的に毎年開催されています。今大会は 11 チームが参加、ディビジョン 1 と 2 に分かれ、開会式後に試合が行われました。それぞれに熱戦を繰り広げた結果、ディビジョン 1 は「ひとりひとりの能力を活かした戦術づくりを心がけ、試合に勝ちにいきます」とコメントした YOKOHAMA Checkers が優勝。ディビジョン 2 は「1 年間の練習の成果が発揮できるようみんなで頑張ります」とコメントした東京 M.F.C. ゴール電・ファイアーズが優勝。各優勝チームにはテレビ朝日福祉文化事業団より優勝杯を贈呈しました。また、閉会式の挨拶の後に、今年の 10 月 31 日にフランスで行われる「第 2 回ワールドカップ」に関東ブロックから日本代表として出場が決まった二人の選手と審判員として参加する方の紹介があり、それぞれの抱負が述べられ、和やかなうちに終了となりました。



●第 36 回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会

日 時：平成 23 年 9 月 30 日 (金)～10 月 2 日 (日)
場 所：サテライトオーパー相模原球場、横山球場 他
主 催：全日本ろう社会人軟式野球連盟

◆◆◆後援・助成

●第 5 回 記念全東京ろう社会人軟式野球 TD リーグ戦

日時：平成 23 年 5 月 15 日 (日)～11 月 5 日 (土) 全 6 回
場所：新荒川球場 (北区) ほか
主 催：全東京ろう社会人軟式野球連盟

◆◆◆後援・助成

●厚生労働大臣杯争奪第 41 回 全国身体障害者スキー大会

日 時：平成 24 年 2 月 23 日 (木)～25 日 (土) 場 所：飛騨おののきスキー場 (岐阜県高山市)
主 催：日本障害者スポーツ協会 日本身体障害者スキー協会 他

●身体障害者スキー 第 27 回 関東大会

日 時：平成 24 年 3 月 9 日 (金)～11 日 (日) 場 所：丸沼高原スキー場 (群馬県利根郡品川村)
主 催：日本身体障害者スキー協会 他

●第 36 回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会

日 時：平成 23 年 9 月 30 日 (金)～10 月 2 日 (日)
場 所：サテライトオーパー相模原球場、横山球場 他
主 催：全日本ろう社会人軟式野球連盟

◆◆◆後援・助成

●第 5 回 記念全東京ろう社会人軟式野球 TD リーグ戦

日時：平成 23 年 5 月 15 日 (日)～11 月 5 日 (土) 全 6 回
場所：新荒川球場 (北区) ほか
主 催：全東京ろう社会人軟式野球連盟

◆◆◆後援・助成

●第 13 回 ウィルチェアーラグビー日本選手権大会

後援・助成

世界ランク 3 位の日本チームがロンドンパラリンピックで初メダル獲得を目指すため、全国の予選を勝ち抜いたチームからトップを決める日本選手権が開催されました。ウィルチェアーラグビーは 1 チーム 4 人の選手で構成し、車椅子の操作やボールを扱う能力（障がいのレベル）により 0.5 点から 3.5 点までの 7 クラスに分かれ、コート上の 4 選手の持ち点合計は 8.0 点を越えてはいけません。四肢麻痺者等（頸髄損傷や四肢の切断、脳性麻痺等で四肢に障がいを持つ者）がチーム・スポーツを行う機会を得たため 1977 年カラダで考案された車椅子による国際的なスポーツで、シドニーパラリンピックから公式種目になりました。

ハードな競技に耐え得る特殊な車椅子を使用し、ボールは公式専用球（バレーボール 5 号球を基に開発された）を使用します。バスまたは膝の上に置き、相手チームのゴールまで運びます。コートはバスケットボール用のコートを使用します。相手の車椅子に自分の車椅子をぶつけ動きを止める「タッセル」が認められ、試合中には「ズシン」、「ドスン」と車椅子同士が激しくぶつかりあう音が千葉ポートアリーナ内にこだしまし、時には転倒してしまうほどの迫力でした。

日本選手権大会はウィルチェアーラグビーの国内最高峰の大会として、また、車椅子による競技スポーツの認知度を高めるための大きな役割を担っており、テレビ朝日福祉文化事業団としてもこの大会を後援しています。今大会は韓国選手権の優勝チームを招聘しての「第二回国際交流大会」を兼ねての開催で、国内各リーグ予選を勝ち抜いた国内トップ 8 チームと韓国チームとのトーナメント方式で開催しました。決勝戦は「Okinawa Hurricanes」（沖縄）と「SUPUR SONIC」（宮城）による対戦となり、白熱した試合が展開された結果、「Okinawa Hurricanes」（沖縄）が 52 対 43 で大会 2 連覇を成し遂げました。

期 間：平成 23 年 12 月 9 日（金）～ 11 日（日）
場 所：千葉ポートアリーナ（千葉県千葉市）
主 催：日本ウィルチェアーラグビー連盟
後 援：千葉市、（社）テレビ朝日福祉文化事業団
日本パラリンピック委員会
日本障害者スポーツ協会



●第 27 回 DPI（障がい者インターナショナル）日本会議全国集会 in 沖縄

後援・助成

日 時：平成 23 年 6 月 18 日（土）、19 日（日）
場 所：沖縄県市町村自治会館（沖縄県那覇市）
主 催：NPO 法人 DPI 日本会議
後 援：内閣府、外務省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省
テレビ朝日福祉文化事業団 ほか多数

●はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー 授賞式

後援・助成

日 時：平成 24 年 3 月 3 日（土）
場 所：幕張メッセ国際会議場コンベンションホール（千葉県幕張市）
主 催：千葉県、千葉県障害者就労事業振興センター

○その他の障がい者福祉事業・団体への支援

●第 28 回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

後援名義

日 時：平成 23 年 8 月 20 日（土）
場 所：東京・有楽町朝日ホール（千代田区）
主 催：全日本ろうあ連盟、朝日新聞社、（社）朝日新聞厚生文化事業団
後 援：厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団 他



●第 49 回 「わたしたちが創る展」

後援名義

会 期：平成 23 年 12 月 5 日（月）～ 9 日（金）
会 場：JR 東京駅丸の内北口地下 動輪の広場（千代田区）
主 催：（財）鉄道弘済会、（社）東京都社会福祉協議会
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団 他
特別協力：（株）石原プロモーション



●第 59 回 全国盲人福祉施設大会

後援名義

日 時：平成 23 年 6 月 23 日（木）～ 24 日（金）
場 所：ホテルアソシア静岡（静岡県）
主 催：（社）日本盲人社会福祉施設協議会

後援名義

●わんぱくクラブ育成会「サンプラザ中野くん せたがやたがやせコンサート」

後援名義

日 時：平成 24 年 1 月 28 日（土）
場 所：世田谷区民会館（世田谷区）
主 催：NPO 法人わんぱくクラブ育成会

後援名義

●第 14 回 土と色—ひびきあう世界—京都展

後援名義

会 期：平成 24 年 3 月 13 日（火）～ 18 日（日）
会 場：京都市美術館
主 催：第 14 回 土と色ひびきあう世界京都展実行委員会

後援名義

■プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント

助成

プロ野球ヤクルト戦の神宮球場 BOX 席入場券を、東京都社会福祉協議会 東京善慈銀行を通じて毎年プレゼントしています。本年度は大田区久が原福祉園、荒川区立尾久生活実習所、文京区小石川福祉作業所、江戸川区立障害者支援ハウスなど東京都内の障がい者施設などの 74 施設 224 枚をプレゼントしました。

一般福祉

●第 60 回 東京都社会福祉大会

協賛名義

日 時：平成 23 年 12 月 20 日（火）
場 所：東京都庁第一本庁舎 5 階 大会議場
主 催：東京都、（社）東京都社会福祉協議会、（社）東京都共同募金会

後援名義

Part ▶04 その他事業報告等

元気な福島

◎ ドラえもん募金「東日本大震災」支援

昨年(2011年)3月11日 午後2時46分、宮城県三陸沖約130キロを震源としたマグニチュード9.0の国内観測史上最大規模の巨大地震がおきました。地震と太平洋沿岸各地に押し寄せた津波による被害は岩手県、宮城県、福島県を中心に未曾有の被害が出ました。多くの人命や家屋が失われただけなく東京電力福島第1原発は津波で電源を喪失、原子炉の冷却が不能になり放射性物質を放出する大事故となりました。余震も頻発に起こり、東北地方だけでなく関東やその他の地域にも被害が出て広範囲な災害となりました。地震発生直後からテレビ朝日では、臨時ニュース、災害報道特別番組の特別編成が組まれ、バラエティ番組やドラマなどのレギュラー番組は休止しました。また、地震発生直後からCMもしばらく姿を消した放送が続けられ、日本広告機構のCMが多く流されました。

テレビ朝日では、被災者支援として3月14日から9月30日まで「東日本大震災支援募金」を行いました。「ワイドスクランブル」、「チャンネル」、「報道ステーション」などの情報・報道番組でタイムリーな被災地報道を放送すると共に多くの視聴者の皆さんに「ドラえもん募金」による支援の呼びかけを行いました。それにより「東日本大震災支援募金」の総額は21億56,030,902円集まりました。寄託先の詳細は、下記の通りです。この被災地支援の「ドラえもん募金」は、1999年8月の「トルコ大地震」から14回になりますが、過去14回のうち最高額になります。また、過去13回の「ドラえもん募金」は、ダイヤルQ2を利用しておりましたが、今回は「東日本大震災」による電話事情の乱れ、不通も多く発生したために混亂を避けるため銀行振込みとし、「三井住友銀行・東京営業部」の理解と協力を得て振込料は無料としてもらいました。

ドラえもん募金(実施期間 平成23年3月14日~9月30日)	
募金報告	金額
ドラえもん募金 総額	2,156,030,902円



【寄託先】

月 日	寄託先	金額
3月22日	岩手県	1億円
3月22日	宮城県	1億円
3月22日	福島県	1億円
3月22日	日本赤十字社	1億円
3月22日	ジャパン・プラットフォーム	2億円
第1回 寄託総額		6億円
4月1日	岩手県	1億円
4月1日	宮城県	1億円
4月1日	福島県	1億円
4月1日	日本赤十字社	2億円
4月1日	ジャパン・プラットフォーム	1億円
4月1日	国連WFP協会	5,000万円
第2回 寄託総額		6億5千万円
4月28日	岩手県	1億円
4月28日	宮城県	1億円
4月28日	福島県	1億円
4月28日	日本赤十字社	2億円
4月28日	国連WFP協会	5,000万円
第3回 寄託総額		5億5千万円
10月3日	岩手県「いわての学び希望基金」	1億円
10月3日	宮城県「東日本大震災みやぎこども育英基金」	1億円
10月3日	福島県「東日本大震災ふくしまこども寄附金」	1億円
10月3日	ジャパン・プラットフォーム	51,834,880円
第4回 寄託総額		351,834,880円
10月31日	日本赤十字社	4,196,022円
第5回 寄託総額		4,196,022円
第1回~第5回の寄託総額		2,156,030,902円

◎ドラえもん募金「東日本大震災から1年」

(実施期間: 平成24年3月8日～3月14日)

テレビ朝日では、一年前に起きた「東日本大震災」の被災者・被災地の続報と振り返り報道などを3月11日を中心に行いました。特に3月11日は午前9時30分から夜11時30分まで特別編成で取り組みました。また、被災地支援として「ドラえもん募金・東日本大震災から1年」募金を3月8日から3月14日を行いました。募金総額は、1億1,100万円になり、寄託先と寄託金額詳細は下記の通りです。

【寄託先】

月 日	寄 託 先	金 額
3月23日	岩手県「いわての学び希望基金」	3,700万円
3月23日	宮城県「東日本大震災みやぎこども育英基金」	3,700万円
3月23日	福島県「東日本大震災ふくしまこども寄附金」	3,700万円

◎ドラえもん募金寄託一覧

◆「ドラえもん募金」は、1999年8月「トルコ大地震」からダイヤルQ2システムを利用して開始しました。2010年1月「ハイチ大地震」までダイヤルQ2システムを利用してきました。2011年の「東日本大震災」では、はじめて銀行振込で行いました。

【寄託先】

発生年月日	震災名				
事業団預かり分			寄託先		寄託金額
ドラえもん募金	直接預り金	計	寄託先	寄託金額	
ダイヤルQ2 テレビ朝日 その他					
1999年8月	[トルコ大地震]				
38,191,545	3,300,000	1,077,302	42,568,847	トルコ大使館	42,568,847
1999年9月	[台湾中部大地震]				
44,120,885	4,000,000	1,335,822	49,456,707	日本赤十字社	49,456,707
2000年4月	[有珠山噴火]				
19,099,224	1,000,000	1,007,526	21,106,750	日本赤十字社	21,106,750
2000年8月	[伊豆諸島噴火]				
36,781,671	0	1,969,779	38,751,450	東京都	38,751,450

発生年月日		震災名				
事業団預かり分			寄託先		寄託金額	
ドラえもん募金	直接預り金	計	寄託先	寄託金額		
ダイヤルQ2 テレビ朝日 その他						
2001年1月	[インド西部]					
38,975,457	2,000,000		3,404,827	44,380,284	インド大使館	44,380,284
2003年12月	[イラン大地震]					
14,136,017	1,000,000		508,100	15,644,117	イラン大使館	6,000,000
					日本赤十字社	9,136,017
					ピースウィンズジャパン	508,100
					合計	15,644,117
2004年10月	[新潟中越地震]					
211,289,200	5,000,000		3,206,730	219,495,930	新潟県災害対策本部	100,000,000
					日本赤十字社	97,495,930
					新潟NPO協会	10,000,000
					新潟県手をつなぐ育成会	500,000
					緊急支援物資購入	1,500,000
					新潟県社会福祉協議会	10,000,000
					合計	219,495,930
2004年12月	[スマトラ沖大地震]					
96,555,213	2,500,000		4,320,000	1,588,672	日本赤十字社	94,790,626
					ユニセフ	3,000,000
					ピースウィンズジャパン	3,000,000
					AMDA	4,173,259
					合計	104,963,885
2005年10月	[パキスタン北部]					
29,719,676	2,500,000		4,110,000	49,309	日本赤十字社	26,378,985
					パキスタン大使館	10,000,000
					合計	36,378,985
2006年5月	[ジャワ島中部]					
21,317,012	2,000,000		2,588,803	69,000	日本赤十字社	25,974,815
2007年7月	[新潟中越沖]					
66,837,692	2,500,000		2,190,000	2,095,752	日本赤十字社	39,876,044
					新潟県中越沖地震災害対策本部	33,747,400
					合計	73,623,444

発生年月日		震災名								
事業団預かり分										
ドラえもん募金	直接預り金	計	寄託先	寄託金額						
ダイヤルQ 2	テレビ朝日	その他								
2008年5月		[ミャンマーサイクロン／四川省大地震／国際救援（中国・ミャンマー）]								
中国四川省										
106,186,311	4,000,000	4,310,000	4,924,871	119,421,182	中国大使館	20,000,000				
					日本赤十字社	27,258,156				
					ジャパンプラットフォーム	10,000,000				
					AMDA	2,551,215				
					計	59,809,371				
					ミャンマー					
					日本赤十字社	27,248,155				
					UNHCR	20,000,000				
					ジャパンプラットフォーム	10,000,000				
					AMDA	1,163,656				
国際救援（中国・ミャンマー）										
41,959,820	2,000,000	2,080,647	329,001	46,369,468	日本赤十字社	1,200,000				
					計	1,200,000				
					合計	119,421,182				
[ハイチ大地震]										
2011年3月					WFP協会	15,000,000				
					日本赤十字社	16,369,468				
					ジャパンプラットフォーム	15,000,000				
					合計	46,369,468				
[東日本大震災]										
合計 2,156,030,902										
寄託先は23Pに記載										
[東日本大震災から1年]										
合計 111,000,000										
寄託先は24Pに記載										
総合計 3,105,166,766										

◎その他義援金

一般の方々からの下記義援金について、日本赤十字に寄託しましたのでご報告します。

イタリア・ローマ義援金 1,000円

チリ義援金 1,000円

中国地震義援金 1,000円

【寄託先】

月 日	寄 託 先	金 額
2010年8月30日	日本赤十字	3,000円

東日本大震災



●平成 23 年度 事業一覧

No	事業名	対象	名義
1	高校生海外生活体験の旅 in シアトル	児童	主催
2	児童養護施設児童対象の第 5 回 演劇ワークショップ「Re-Action」	児童	主催
3	江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会 2011 野球の部	児童	共催・助成
4	児童福祉施設職員のためのワークショップ	児童	共催・助成
5	第 53 回 桜花会展	児童	後援・助成
6	第 57 回 全国里親大会	児童	共催・助成
7	こどもの国 ジャンボカラタ取り大会・どんど焼き	児童	助成
8	第 61 回 社会を明るくする運動「匠に学ぶワークショップ in 東京藝術大学」	児童	後援名義
9	「憩いの家」バザー	児童	後援名義
10	日本児童養護実践学会第 4 回 研究大会	児童	後援名義
11	第 5 回「家族週間」子育て童謡コンサート	児童	後援名義
12	「子供 キラット! 離表会」	児童	主催
13	高齢者施設訪問(1年間で 12 施設訪問)	高齢者	主催
14	けやき坂カラチヤ教室(年 10 回 開催)	高齢者	共催
15	第 13 回 クブナ・フラ・フェスティバル	高齢者	共催・助成
16	高齢者への暴力防止プロジェクト助成	高齢者	後援・助成
17	第 4 回 国際シニア合唱祭「ゴールデンフェア in 横浜」	高齢者	特別後援・助成
18	ファミリー童謡チャリティーコンサート	高齢者	後援・助成
19	トウレヴァンコンサート	障がい者	主催
20	障がい者の小規模事業所等への設備助成	障がい者	助成
21	発達障がいを持つ子ども達のためのキャンプ	障がい者	後援・助成
22	第 34 回 わらじの会 夏合宿	障がい者	助成
23	血友病患者の子供たちを支援するむさしの会スマーキャンプ	障がい者	助成
24	第 34 回 車椅子バスケットボール秋季大会	障がい者	共催・助成
25	日本車椅子バスケットボール連盟第 8 回 ジュニア選手育成講習会	障がい者	後援・助成
26	第 35 回 ハンディスキー親善大会	障がい者	共催・助成
27	厚生労働大臣杯争奪 第 41 回 全国身体障害者スキー大会	障がい者	後援・助成
28	身体障害者スキー 第 27 回 関東大会	障がい者	後援・助成
29	第 28 回 全日本視覚障害者柔道大会	障がい者	後援・助成
30	第 15 回 電動車椅子サッカー関東大会	障がい者	後援・助成
31	第 36 回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会	障がい者	後援・助成
32	第 5 回 全東京ろう社会人軟式野球 TD リーグ戦	障がい者	後援・助成
33	第 13 回 ウィルチャラグビー日本選手権大会	障がい者	後援・助成
34	第 27 回 DPL 日本会議全国集会	障がい者	後援・助成
35	はーとまるのメッセージ・オブ・サ・イヤー 2011	障がい者	後援・助成
36	第 28 回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト	障がい者	後援名義
37	第 49 回「わたしたちが創る展」	障がい者	後援名義
38	第 59 回 全国盲人福祉施設大会	障がい者	後援名義
39	わんぱくクラブ育成会「サンプラザ中野くんせたがやかやせコンサート」	障がい者	後援名義
40	第 14 回 土と色・ひびきあう世界—京都展	障がい者	後援名義
41	プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント	障がい者	助成
42	第 60 回 東京都社会福祉大会	一般	協賛名義

今年度東日本大震災のために開催中止および延期になった事業

1	第 57 回 関東甲信越静 里親研究協議会	児童	後援・助成
2	児童虐待防止事業	児童	共催
3	内閣総理大臣杯争奪日本車椅子バスケットボール選手権大会	障がい者	後援・助成

●平成 23 年度 収支報告

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日 単位:円)	
科 目	金 額
収入の部	
寄附金収入	30,143,015
基本財産基金利子収入	0
運用財産基金利子収入	243,039
運用財産利子収入	34,693
雑収入	9,435
当期収入合計 (A)	30,430,182
前期繰越額 (B)	61,855,349
収入合計 (A+B)	92,285,531
支出の部	
児童福祉費	8,441,330
高齢者福祉費	5,397,504
障がい者福祉費	14,135,483
広報費	1,560,894
緊急援護活動支援費	274,166
事務費	1,790,705
人件費	8,236,309
当期支出合計 (C)	39,836,391
当期収支差額 (A-C)	△ 9,406,209
次期繰越額 (A+B - C)	52,449,140

◎ 平成 23 年度 ご寄附者のご報告

企業・団体・個人の皆様からご寄附をいただきました。心から御礼申し上げます。
寄附金合計 30,143,015 円

★一般寄附（敬称略・五十音順）

募金箱…… 29,031 円（テレビ朝日受付、グッズショップ、cafe シエマディに設置）
個人……… 国府谷明彦 ほか 3 名
団体……… 53 団体
アラコム㈱、㈱アンフィニ、㈱大塚商会、㈱関電工、九州巨人軍愛好会、㈱コマデン、サロンドクレール、三建設工業㈱、㈱サービース、城南賃貸協同組合、新日本プロレスリング㈱、㈱セルメスター、ダイダン㈱、㈱台東サービス、㈱竹中工務店、中央ろうきん社会貢献基金、㈱テレビフィット、東京綜合警備保障㈱、㈱東京美術、東京原宿ライオンズクラブ、東京六本木ライオンズクラブ、東京労働者福祉協議会、㈱ドマーニ、日本歯科衛生協会、日本郵政グループ労働組合東京地方本部、㈱俳優座劇場、(公財)原田積善会、富士ゼロックス㈱、富士通㈱、フローラ㈱、北辰中学校保険委員会、㈱ミヤギ、横浜エレベータ㈱東京支店、リゾートトラスト㈱
㈱テレビ朝日、㈱テレビ朝日アーカイブ推進室、㈱テレビ朝日アスク、テレビ朝日映像㈱、㈱テレビ朝日クリエイティブ、㈱テレビ朝日サービス、㈱テレビ朝日ベスト、㈱テレビ朝日ミュージック、シンエイ動画㈱、㈱ティクシステムズ、㈱東京サウンドプロダクション、㈱トラストネットワーク、㈱日本ケーブルテレビジョン、㈱ビース朝日、㈱ビデオ・パック・ニッポン、㈱文化工房、㈱放送技術社、㈱ロッピングライフ、他

★ 物資などのご協力 2 団体

㈱ドクターシーラボ、㈱テレビ朝日

平成 24 年 第 4 回 トゥレヴァン・コンチェルトのご案内

今年は、ヴァイオリニスト川畠成道さんをお招きしてコンサートを行います。川畠さんは英国をベースにソリストとして国際的に音楽活動をされています。今年も障がいの方々を優先的にご招待します。

観覧希望の方はホームページをご覧ください。

日 時：平成 24 年 10 月 13 日（土）15：00 開演（14：00 開場）
会 場：メルバレクホール（港区芝公園）
出 演：川畠成道、綱川康典、山内さおり、常 瑞里子、ムジークフェライン室内楽団



◎ テレビ朝日福祉文化事業団 理事・評議員

（平成 24 年 4 月 1 日現在）

役職名	氏名	職業
理事長・評議員	君和田 正夫	株式会社テレビ朝日 取締役会長
副理事長・評議員	早河 洋	株式会社テレビ朝日 代表取締役社長
理事・評議員	石野 清治	社会福祉法人 同愛記念病院財団 会長
理事・評議員	高橋 利一	社会福祉法人 至誠学舎立川 理事長 法政大学 名誉教授
理事	山崎 哲男	日比谷見附法律事務所 弁護士 東京六本木ライオンズクラブ
理事	岩尾 総一郎	一般社団法人 日本尊嚴死協会 副理事長 医学博士
評議員	岩崎 浩三	国際ソーシャルワーカー連盟 日本ソーシャルワーカー協会 常任理事 新潟医療福祉大学客員教授
評議員	松木 康夫	新赤坂クリニック名譽院長 医師
評議員	梅木 孝夫	広友ホールディングス株式会社 代表取締役社長 東京六本木ライオンズクラブ
評議員	宮沢 成実	社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 総務部企画担当
評議員	根本 保	元株式会社ビース朝日 常勤監査役
評議員	岸田 晟	財団法人 日本民主文化協会 理事長
評議員	安達 周	社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団 事務局長
評議員	香山 敏三	株式会社テレビ朝日 経理局長
評議員	東 ちづる	女優
監事	平田 和子	平田和子税理士事務所 税理士
監事	若穂井 透	日本社会事業大学 福祉マネジメント研究科 (専門職大学院) 客員教授 弁護士

◎ 事業団が加盟する福祉団体

- ・(社福) 東京都社会福祉協議会
- ・高齢社会 NGO 連携協議会

テレビ朝日福祉文化事業団の活動は、皆様からのご寄附によって支えられています。当事業団へのご寄附は、特定公益増進法人への寄附金となり、税法上の優遇措置が適用されます。個人の場合は所得税の寄附金控除として、法人の場合は法人税の損金算入の対象となります。また、香典返しの一部を社会福祉事業に、とのお考えをお持ちの方々からのご寄附を承っています。

ご意思のある方はご連絡をいただければ幸いです。

なお、ご寄附の方法は下記のとおりです。

【ご寄附の方法】

● 郵便振替

口座番号 00110-6-761778

口座名（加入者名）「こころの樹」

※通信欄に「寄附金」と記入、事業指定がある場合はご記入ください。

● 現金書留で郵送

〒 106-8001 東京都港区六本木 6-9-1

テレビ朝日福祉文化事業団

● 銀行振込希望の方は、事務局へご連絡ください。

※振込手数料のご負担をお願いいたします。

※ 当事業団が実施する特定の事業へ指定される場合は、事務局へお問い合わせください。

ご寄附の金額は問いません。

※ ご寄附の使途について

ご寄附は、事業団が実施する児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉のさまざまな社会福祉事業へ充てさせていただきます。

【連絡先】

テレビ朝日福祉文化事業団 事務局

電話 03-6406-2195

FAX 03-3405-3797

テレビ朝日福祉文化事業団ホームページ



<http://www.tv-asahi.co.jp/fukushi/>

テレビ朝日福祉文化事業団 事業報告
2011年度(平成23年度)
年報 こころの樹

発行人 阿部幸雄

2012年(平成24年)5月17日発行

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団

〒106-8001 東京都港区六本木 6-9-1 森タワー 16 F

TEL 03-6406-2195, FAX 03-3405-3797

<http://www.tv-asahi.co.jp/fukushi/>

E-mail:fukushi@tv-asahi.co.jp

※文中の役職等は、その時点での表記と致しました。

※無断転載は禁じます。

Tv asahi welfare foundation. All rights reserved.